

2011年8月5日

(株)日本サンガリアベバレッジカンパニー

## サンガリア製品の安全性について

関東及び南東北地方の多数の農産物等（野菜、緑茶、食肉など）および水道水から食品衛生法上の暫定規制値を超える放射性セシウムおよびヨウ素が検出されたとの報道があり、一部で出荷自粛・自主回収あるいは飲用の自粛等の発表がありました。

本件につき、下記の通り弊社製品に使用している原料等の安全性についてご報告いたします。

1. 【農産物等産地】：東日本の緑茶は使用しておりません。また暫定規制値を超える発表のあった都県の農産物等も使用しておりません。果汁を含む多くの農産物等原料は考慮するに及ばない海外産となっています。
2. 【農産物収穫年】：現行品は昨年（2010年）収穫した緑茶等農産物を使用しています。今年収穫（2011年）した原料についてはガンマ線スペクトロメーター（検出限界は1 Bq/L）で放射能を検査確認して選定使用する体制を取って参ります。
3. 【生産工場と原水】：東日本の工場に一部を生産委託しておりますが、その工場の原水を確認し、放射能は検出されておられません。弊社の大多数の製品は福島第一原発400km圏外となる西日本の自社工場（製造所固有記号：大阪本社 SNG, 今川工場 SNG1, 伊賀工場 S1, 上野工場 SNG39）を中心に生産（一部は西日本の委託工場）しています。
4. 【製品検査】：出荷前製品の放射線量では自然被曝量以下の数値にて、既に問題無しでした。当然の事として弊社製品は客観的に安全であると認識されています。近日入荷するガンマ線スペクトロメーター（検出限界は1 Bq/L）で農産物等原料・原水をはじめ、全製品の内容物について放射能確認して参りますので、さらに安全性が確保されて安心感が強まります。

今後とも変わらぬご愛顧賜りますよう宜しく御願い申し上げます。

以上